

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	よろず保育園
活動期間	R6.10.16～11.7
クラス名(年齢)	たんぽぽ組(0歳児)
年間テーマ	水

1.活動テーマ

<テーマ>

ゆうえんちごっこ

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

水をテーマにしたたんぽぽ組の「ころころたまご何の卵？」の他にも各クラスの遊びが楽しめるよう、部屋の中でも他クラスの音楽を聴いたり体操をして慣れし親しんでから、ゆうえんちごっこの遊びに出かける。

2.活動スケジュール

R6. 10. 16～ 川、池、滝、色々な水の中に行ってみよう！

R6. 10. 28～お気に入りの水の遊びを探そう！

R6. 11. 5～水の遊園地に早く行きたいね！自分たちでじゅんぴをしちゃう！？

3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

財布、帽子、靴下、靴、各クラスの遊びに必要なもの(0歳児は水草、川、葉っぱ、卵等)

4.探究活動の実践

<活動内容>

1人の保育士に、2人位の少人数でゆうえんちごっこに出かけその子の興味のあるコーナーに行き遊ぶ。環境に慣れず泣く子は無理せず抱っこで周りを見るだけにしたり、園庭のコーナーに行きたがる子は保育士同士連携をとりメンバーを変えて楽しめる、場所も無理なく子どもに合わせられるようにした。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
R6.10.13 お兄さんからもらったチケットを財布に入れてもらったよ！気になって出したり入れたり…葉っぱも拾って入れたいけどパリパリになって落ちちゃった！！(Rちゃん) 10.18 沢山の人のドキドキ！先生抱っこして～！あれ？見たことあるよいつも遊んでた水草だ！指しゃぶりもしていたらウトウト…水草のベッドで寝ていたたまごちゃん遊び(運動会の)みたいで眠くなっちゃうね！(H君) 10.23 水の風船にさわってみたい！と保育士の抱っこから一生懸命に手を伸ばして興味津々！でもその時に風が吹いて風船が揺れると「！？」驚いて手を引っ込めて顔を背けちゃった！(Aちゃん) 10.31 財布を持ったら“早くあそびにいきたいよ～！”の気持ち一杯のT君。“帽子と靴下の置いてある場所も知ってるもんね！”と背伸びをしてソロ～っと取れるか挑戦！ 11. 6 慣れてきたらもう泣かないよ！お兄さんに渡してもらった水のタンブリンを手にとってじ～っと見つめるH君。裏に返して、水の模様が気になって撫でてみたよ！	 

5.振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

いつもと違う場所や人に対して警戒心が強く、泣くことが多かったH君。ゆうえんちごっこの中で、音楽が聞こえて自分で楽器をならす事の出来る場所で何日かかけて降りて遊べるようになった。もらった楽器をならすのかと思いきや、タンブリンの模様を裏表でみたり触ってみたり“音を鳴らす”という大人の概念でなく見た目が気になったり感触を味わいたいというもっと根本の興味なのだと驚かされた。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	よろず保育園
活動期間	R6.10.17～ R6.11.8
クラス名(年齢)	すみれ組 (1歳児)
年間テーマ	水

1.活動テーマ

<テーマ>

ゆうえんちごっこ

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

運動会の遊びから広がるゆうえんちごっこ。運動会で使用したものが園庭や室内に広がり親しみを持って遊ぶ。異年齢児との関わりを楽しみサイフやチケットのやりとりを知る。

2.活動スケジュール

R6.10.17 年長児の話からの導入に心躍らせる

R6.10 音楽、財布、遊びの連動

R6.11.8 最後のゆうえんちごっこ、たっぷりあそぼう

3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・サイフ・お金・運動会で使用した遊び

保育士に対して子ども2. 3人で回る

4.探究活動の実践

<活動内容>

再演で他のクラスのあそびを見たからこそ運動会の曲や遊びに心躍らせる子どもたち。朝の時間にテラスあそびをし、ゆうえんちごっこの曲が流れるのを遊びながら待つ。行きたいと言った子どもから保育士と一緒にゆうえんちごっこを回る。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
「ゆうえんちごっこ？」とイメージが付かない声が聞こえる。保育士と一緒にゆうえんちごっこに行くと沢山の遊具に驚く様子を見せる。すみれのコーナーに行き、チケットのやりとりや遊びに慣れると自ら「次はこっち」と保育士の手を引き遊び始める。 遊びに慣れ始め友だちといっしょに行くことを楽しみ手を繋ぎいきたいコーナーを回っていく。「たのしね」「ここでお金出すんだよ」と子ども同士のやりとりが増える。 水草から魚を取りペンギンにご飯をあげる遊びからたんぽぽさんの卵を守る遊びに広がり「卵持ってて」「もってきたよ」などペンギンになりきりペンギンに話しかける。	 

5.振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

賑やかな雰囲気には驚いた様子から自ら進んでコーナーを回る姿に。運動会で遊んだ遊具だからこそ遊びに入り込み、たんぽぽ組のコーナーと同じ空間にすることで遊びの幅が広がった。保育士に対して少人数で行ったことにより子どもたちの発見、声に耳を傾けられた。異年齢児との関わりも遊びを通してやりとりを楽しんだ。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	よろず保育園
活動期間	R6.10.17～11.8
クラス名(年齢)	ちゅうりっぷ組(2歳)
年間テーマ	水

1.活動テーマ

<テーマ>

ゆうえんちごっこ

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

運動会の遊びを取り入れた水のテーマにあった遊びで楽しむ。多年齢児の子とも関わりがあり係をやっている幼児クラスを見て憧れや期待を持つ場面でもある。

2.活動スケジュール

10月17日 導入、遊び方を聞く

11月8日 最終日、自動販売機のやり取りで遊ぶ

3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

お財布、網、画用紙、フープ、

4.探究活動の実践

<活動内容>

運動会の遊びを取り入れ園庭で行う全クラスで楽しむごっこ遊び。係は幼児クラスが行い楽しむ。ちゅうりっぷ組は5人＋保育士のグループに分かれて財布を各自持ち、回る。お金を払うとチケットをもらえる。滑り台やブランコ等普段園庭遊びではできない遊びを楽しむことができる。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
R6.10.17 ゆうえんちごっこが始まる 朝から園庭に楽しそうな遊びが用意されているのを見ている子どもたち。「何があるんだろうね？」と話す姿が見られる。ゆうえんちごっこの放送を聞いて「え～?!」とにっこり！財布をもって準備をしていく R6.10.18 大好きな滑り台 何回も何回も滑り台を楽しむ子どもたち。苦手な子も見られたが「一緒にいってみよう」と誘われ頑張って挑戦！保育士と滑り降りるとにっこり「もう一回やってみる！」と挑戦する姿が見られた。 R6.11.8 スタンプ初挑戦！ 今まで幼児クラスの子どもたちがチケットにスタンプを押して渡してくれていた。最終日の日は自分でスタンプに挑戦！インクを付けたらペッタン！「できた！」と嬉しそうに順番に押していく。低紙が手伝おうとすると「自分でやる！」とお兄さんお姉さんの真似をしながらも組が楽しみな様子だった。	  

5.振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

なにもわからなかったゆうえんちごっこ。遊んでいくうちに遊び方も理解していき自分の一番好きな遊びも出てきた子どもたち。単独で行動している子も見られたが、だんだんと子どもたち同士で、「次どこ行こうか？」や「一緒に歩こう」と手を繋ぎ会話を交わしながら回ることが増えた。銀行の使い方も「あ！お金ないから銀行だね！」等と自分達発信で行くことが多くなった。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	よろず保育園
活動期間	R6.10.16～R6.11.8
クラス名(年齢)	もも組(3歳児)
年間テーマ	水

1.活動テーマ

<テーマ>

ゆうえんちごっこ

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

運動会からの、繋がる保育で、運動会での親子競技の潮干狩りと、波乗りをゆうえんちごっこで全園児で遊び、遊びを通して水の源の海を身近に感じ、運動会での表現遊びを深めた。

2.活動スケジュール

R6.10.16 ゆうえんちごっこの話し

R6.10.17～11.8 ゆうえんちごっこ

3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

段ボール、色画用紙、テープ、運動会で使用した背景等

4.探究活動の実践

<活動内容>

運動会で表現した、波。思い出だけにせず、全園児で楽しむゆうえんちごっこの遊びの一つになり、更に波への興味を深めた。遊ぶだけではなく各コーナーの係になり、責任感を。縦割りの係にすることにより、異年齢での交流を深め、年長児への尊敬の心がうまれていった。

子どもの言葉・姿	写真
R6.10.17 ゆうえんちごっこ初日 ももぐみになって、初めてのゆうえんちごっこ。 初めての縦割り保育と、係活動を行った。 運動会の表現の背景や、親子競技の珊瑚を見つけ 「あ！なみのこちゃんだ！」 「これ、パパに引っ張ってもらった！」 と、運動会での遊びを繋いでいくテーマ保育 ならではの、思い出を思い出だけとしない、広がりをみせた。 砂場を掘ると、 「あ！これ私の作った貝だ！」 「これは、〇〇ちゃんが作った貝！」 と、自分たちが遊びを深めるために作った貝が出て来て喜ぶ姿がみられた。 BGMも、各クラスの音楽を使用しているため 他クラスの表現遊びを模倣する姿もみられた。	  

5.振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

運動会で行った、表現あそびで使用した背景や小道具をそのままあそびの一部にすることで繋がりを保ったままの保育展開となった。子ども達も、親しみがある珊瑚や、波のお面を付け、歌ったり踊ったり、自然と自由に楽しむ姿がみられた。

水のように繋がる保育で、子ども達の心も豊かなまま、次に進める活動になった。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	よろず保育園
活動日時	R6.10.16～11.8
クラス名(年齢)	さくら組(4歳児)
年間テーマ	水

1.活動テーマ

<テーマ>

ゆうえんちごっこ

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

運動会を終え、その気持ちをすぐに終わらせるのではなく、続いていけるようにする。全クラスで運動会にちなんだ遊びを展開し遊びを探究していく

2.活動スケジュール

R6.10.16 ゆうえんちごっこの導入

R6.10.17～11.8 ゆうえんちごっこ

3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

運動会で使用した道具・テーブル・イス・お財布・お金・チケット・外帽子

運動会で使用したCD

4.探究活動の実践

<活動内容>

二人一組になって、各コーナーの係活動を責任をもって行う。係活動がない時には友達と一緒に好きなコーナーを回り、お金を払ってチケットを買い、遊びを楽しむ。全クラス合同で行うので、異年齢との交流ができる機会となる。運動会の遊びの余韻を楽しみながら遊ぶ。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
R6.10.16 ゆうえんちごっこ導入 どんな遊びがあるのか、どうやって遊ぶのか説明を受けながら、ワクワクした表情を浮かべる。 さくらのコーナーをみつけると「さくらのだ!」と喜ぶ。 R6.10.17 ゆうえんちごっこ 2人でペアになりコーナーを回ったり、コーナーの係をしたりする。トランポリンやすべり台は特に人気で、1日で何回もする子もいた。 ペアは毎日さくら組の違う子と組むため、色々な交流があった。「この係はこうするんだよ」とやったことのある係は初めての子に教えてあげる姿も見られた。 「次はどこに行く?」「どこの係したい?」などと友だちの意見も尊重できる声が聞かれた。 普段あまり関わることのない0歳や1歳の乳児との関わりもあったため、「可愛い」と可愛がる姿も見られた。	  

5.振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

子どもたちにとってゆうえんちごっこが毎日の楽しみであり、合同で行っていたことが異年齢の関わりがあった。運動会にちなんだ遊びから気持ちを途絶えさせることなく水をイメージしながら遊ぶ事が出来た。係活動をすることにより、自分の仕事を最後までやりきることを知れる活動になった。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	よろず保育園
活動期間	R6.10.9～11.8
クラス名(年齢)	ひまわり組(5歳児)
年間テーマ	水

1.活動テーマ

<テーマ>

ゆうえんちごっこ

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

楽しかった運動会で、たくさんの“水”を通したあそびを知った子どもたち。この楽しさをもっとみんなで味わいたい！と、今度は園庭で大型遊具を大いに利用し、楽しい“みずのゆうえんち”登場！

2.活動スケジュール

R6.10.9～10.16 ゆうえんちごっこの話し合い・準備

R6.10.17～11.8 ゆうえんちごっこ

3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

各クラスが運動会で使用したお面、背景、小道具、音楽等
トランポリン、うんてい、非常用滑り台、箱車、砂場等

4.探究活動の実践

<活動内容>

運動会で他のクラスのあそびをすべて見せてもらったことで、水とそこに生きるいのちを身体で表現したことを、今度は楽しい遊具に変身させよう！滑り台は水の流れに、トランポリンは流れ落ちる滝に…あそびを変化させ、慣れ親しんだ音楽の中でさらに水への親しみを深めていった。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
水のゆうえんちごっこに出発進行！待ち遠しい様子で財布を片手に園庭に飛び出す子どもたち。 テーブルには係の人もいて、チケットをやりとりするのも楽しい！ 非常用滑り台では、斜面を一気に流れ落ちる水になって、出発！「こわいー！」と思う暇もなく、あっという間に到着。目をキラキラさせて何度もチケットを買って挑戦していた。 ゆうえんちごっこ一番の人気は大きなトランポリン。0歳児も5歳児も、その揺れる感覚を楽しみ、滝になって大ジャンプ！こちらも行列ができるほどの盛況ぶり。 他にも、魚になって網をくぐったり、海辺の砂浜を模した砂場では潮干狩りを楽しみ、かえるのたまごを運んだり…運動会であそんだことがすべて、楽しい遊具を使ったものになり、子どもたちのドキドキワクワクがたくさんあふれていた。	

5.振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

表現あそびが遊具を使ったあそびに変身するというのが、このゆうえんちごっこの魅力である。BGMはもちろん運動会であそんだ曲。「あっこれたんぼぼさんの曲！」すぐに気づき、その表現あそびの身振り手振りを再現しながらあそんでいることも。楽しかった思い出が今度はどんなあそびになるんだろう？というワクワク、まさに“つながるあそび”であり、つながりを子どもたちも心から楽しんでいることがわかる。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	よろず保育園
活動期間	R6.11.1
クラス名(年齢)	全園児(0～5歳児)
年間テーマ	水

1.活動テーマ

<テーマ>

ゆうえんちごっこ(ワイワイはらっぱ)

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

毎日楽しいゆうえんちごっこ。もっと広いところで思いっきりあそびたい！
園舎を飛び出し、広～いはらっぱで全園児が集まる『ワイワイはらっぱ』。
“みず”を使った楽しい遊具を中心に、いっぱいあそぼう！

2.活動スケジュール

R6.10.24 集会

R6.11.1 ワイワイはらっぱ

3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

片倉城址公園、シャボン玉、段ボール迷路、キャタピラ、竹の水でっぽう、
竹馬、竹ぽっくり、凧、ロールマット、他

4.探究活動の実践

<活動内容>

遊び慣れた運動会のBGMを聞きながら、いつものゆうえんちごっこよりも
もっと規模の大きい『ワイワイはらっぱ』。お父さん・お母さんの手を引き、
自分の行きたいコーナー・遊具に没頭してあそびこんでいく。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
子「パパ競争しよう！」父「いいよ！」 2人で段ボールのキャタピラの中へ。 「よーい、ドン！」親子で猛然とダッシュ！ 子どものほうが勝ちそうになると妨害するお父さん… 母「ママも昔できたんだよ」子「えーいいなあ」 竹馬に乗って得意そうなお母さん。 シャボン玉コーナーではこんな一幕も。 大きなシャボン玉を作りたいと親子で試行錯誤。 「泡があるとできないよ」「こっちの網のほうがいい」 「向こうから走ればいいよ」「風はこっちから」等々。 親の知識と子どもの飽くなき挑戦心で、大きな シャボン玉ができました！	  

5.振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

大好きな両親と一緒に、自分のやりたいあそびに一直線で向かっていく様子から、
当園が常に「子育て・子育て・親育ち」と掲げている子育てのあり方は、これからも
訴え続けたい理念である。子どものやりたいこと・夢中になっていることに、親も興味
を持って参加し、時には親のほうが童心に返りあそぶ中で、親子のかけがえのない
時間がまたひとつ重ねられ、子どものやる気と思いやりを育てていくことを実感した。